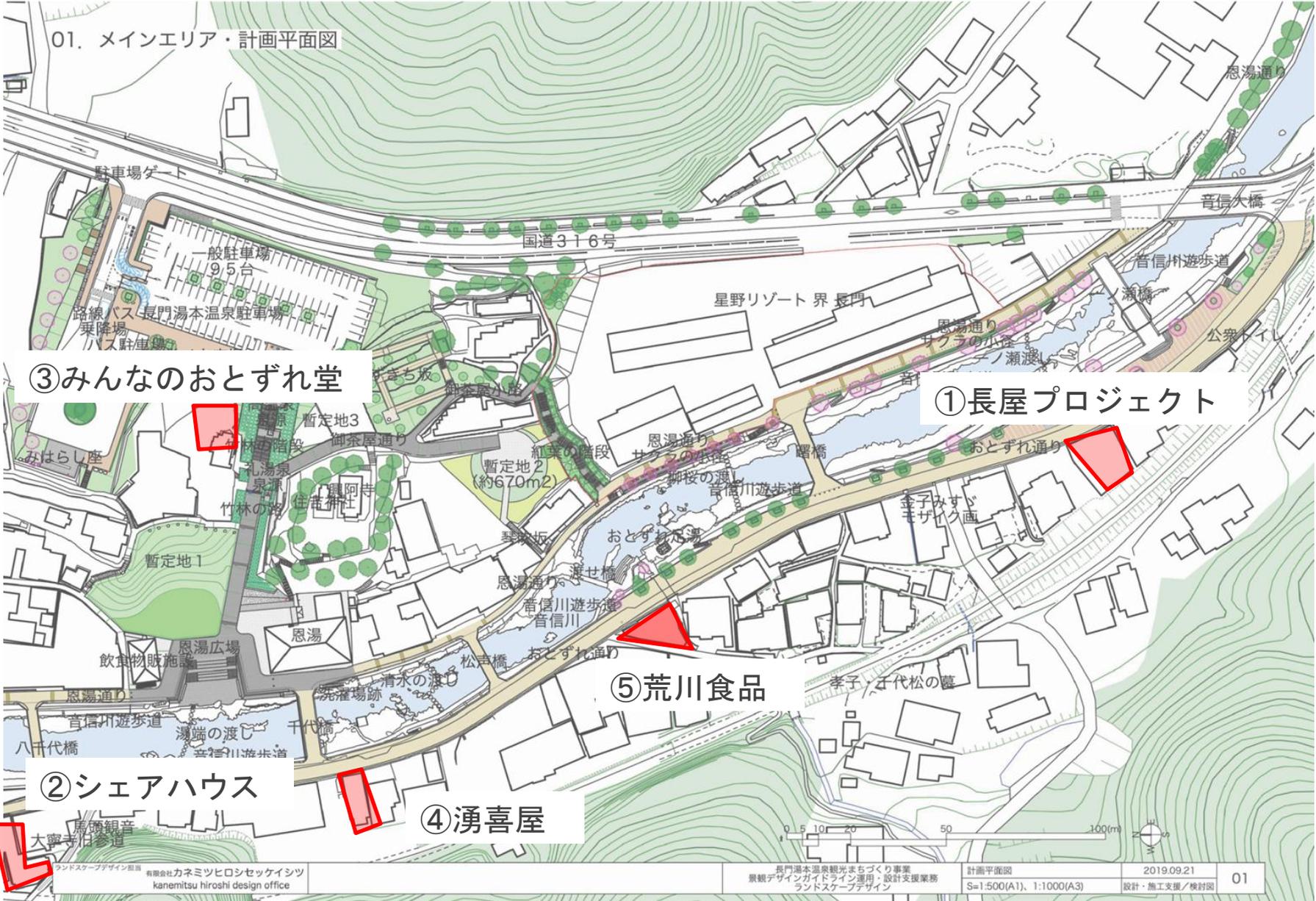


# おとずれリノベの進捗状況について（報告）



# 長屋プロジェクト（仮）

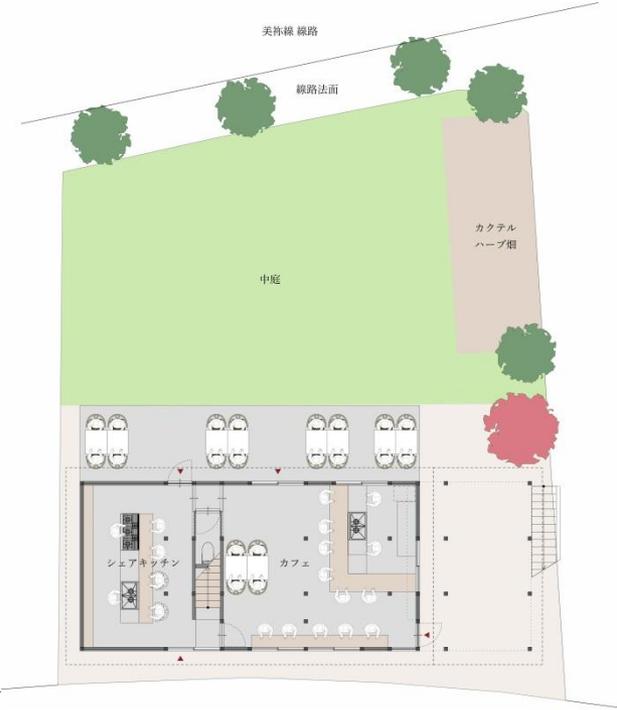
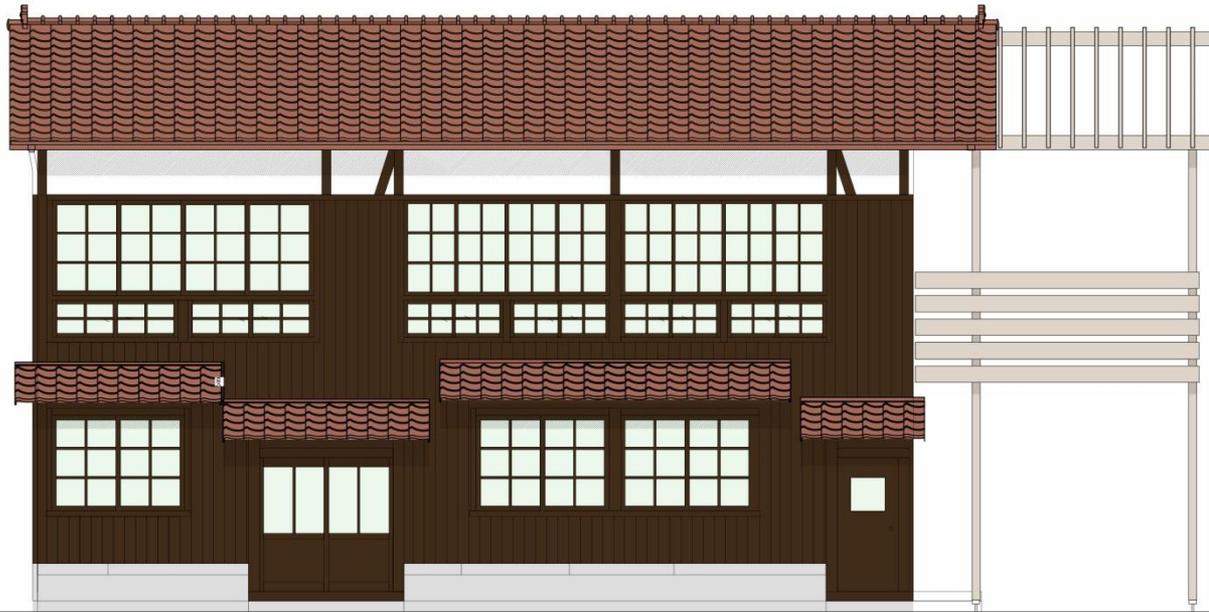
事業者：ゆとりお不動産

長門湯本温泉の風情を感じさせる音信川に面する  
伝統的長屋建築をバーとカフェにリノベーション予定  
（年度内目標）



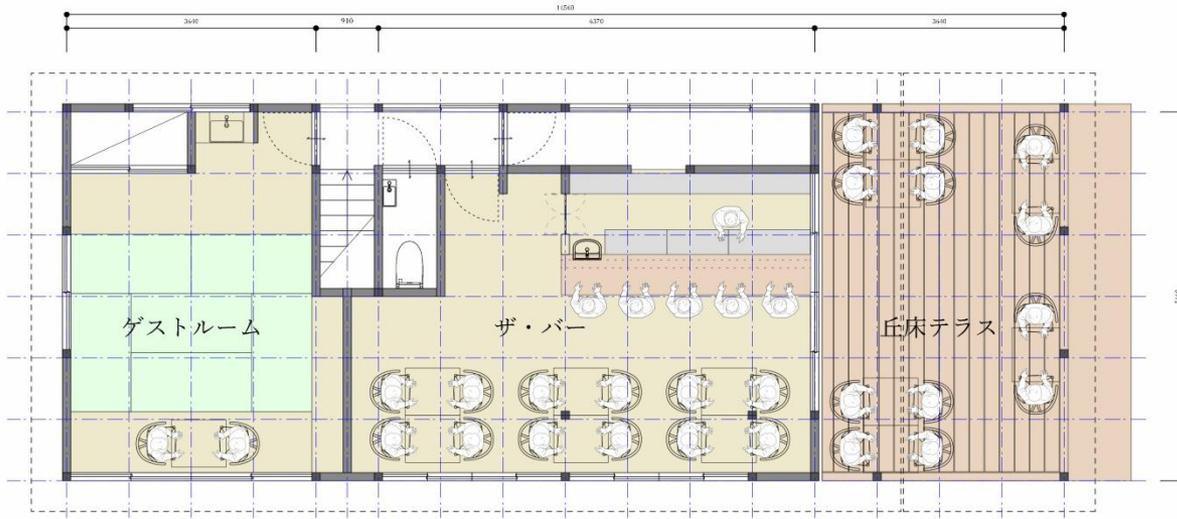


■ 立面図

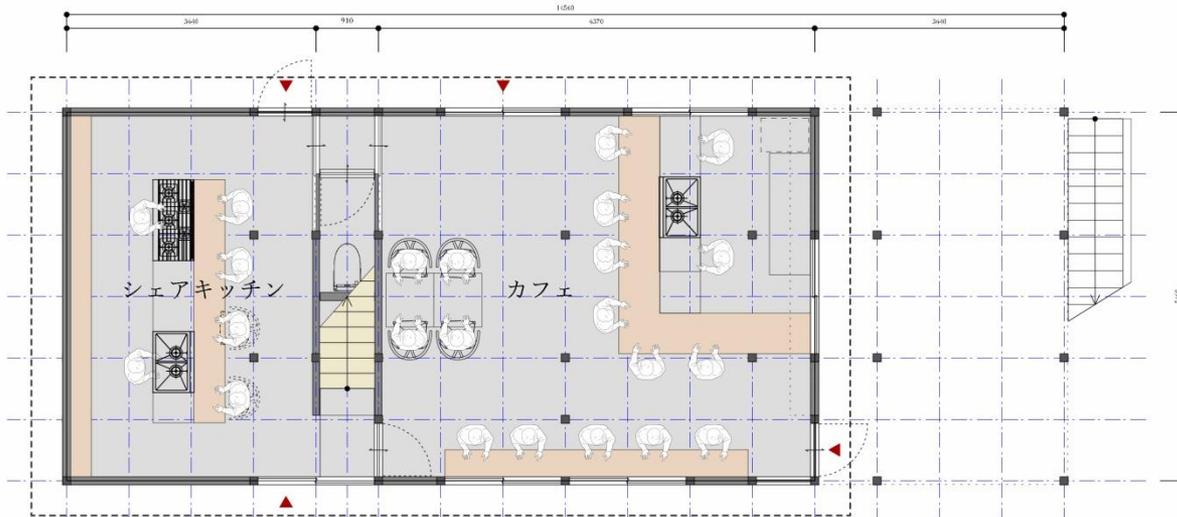


4軒長屋の右側の1軒を減築し、敷地背後の接道解体動線と接道を確保  
敷地背後には美祢線が走る

■ 2Fプラン



■ 1Fプラン



1階はカフェとシェアキッチン 2階はテラス付バーとゲストルーム



表の長屋は雨漏りで劣化した部分を減築し、  
耐震補強・ジャッキアップ基礎打ち替えが進んでいます。



2階から音信川の景色を眺めながら愉しむお酒、中庭でのんびり飲むコーヒー、湯本温泉で素敵なひとときが過ごせる場所が生まれます。

# ハートビートシェアハウス（仮）

事業者：ハートビートプラン

かつての湯本まちかど資料館の建物と  
その背後にある古民家のリノベーション  
(年内目標)

月極駐車場

月極駐車場の詳細情報は、  
お問い合わせください。  
0221-22-4284



まずは先行して背後の古民家を  
集まって住むことの出来るシェア型の住宅と店舗にリノベーション予定



ひたすら続く片付けの様子

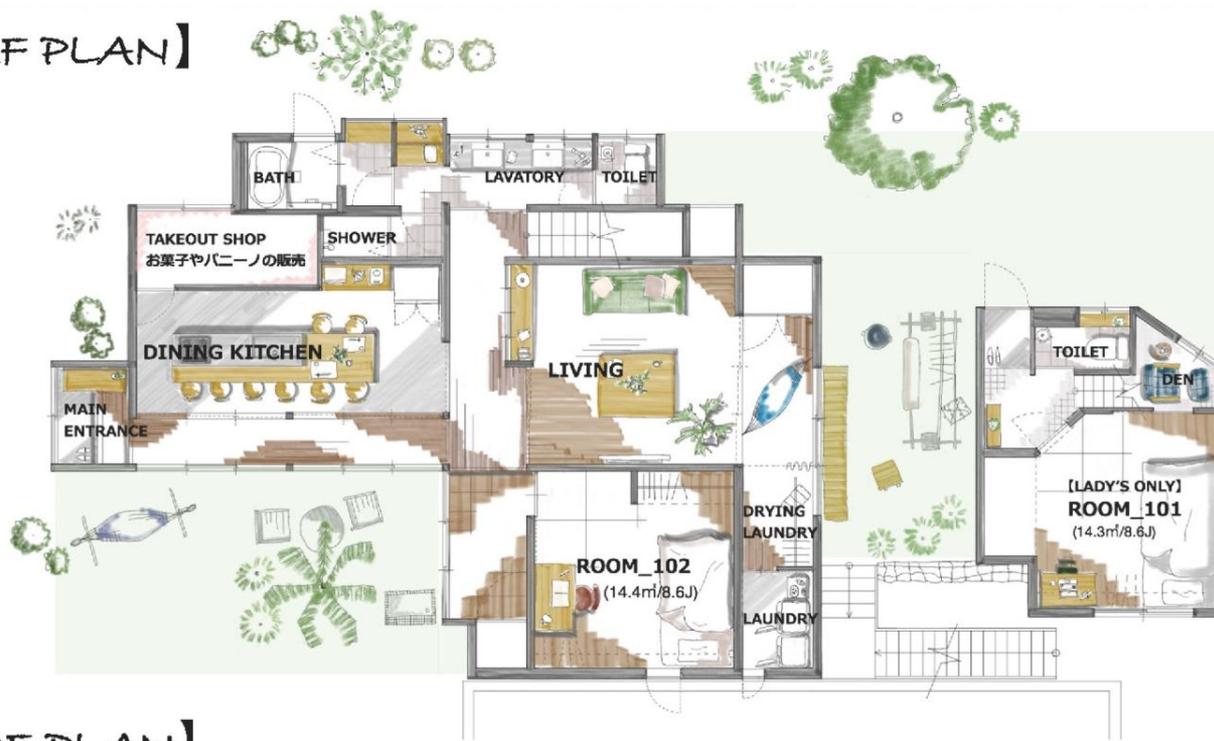


片付けにより魅力的な古民家が見えてきた



長門湯本で暮らし、働くことがより楽しくなるようなそんな場所が生まれます。

# 【1F PLAN】



# 【2F PLAN】



※【LADY'S ONLY】は入居者の男女比率によって調整する可能性があります。

絶賛入居者募集中！

# まちの番台「みんなのおとずれ堂」

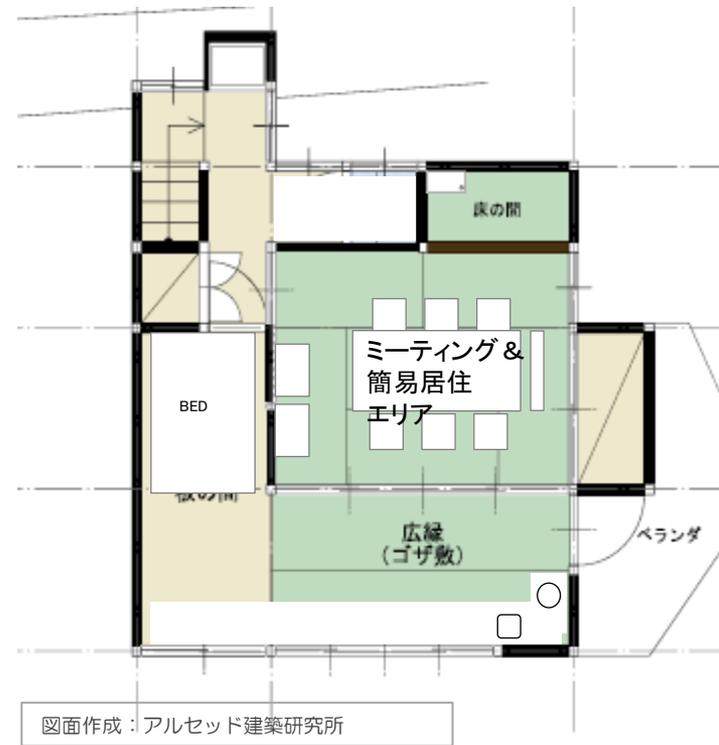
事業者：おとずれ堂

長門湯本温泉の玄関にあたる竹林の階段沿いにある古民家  
(年内目標)





1F

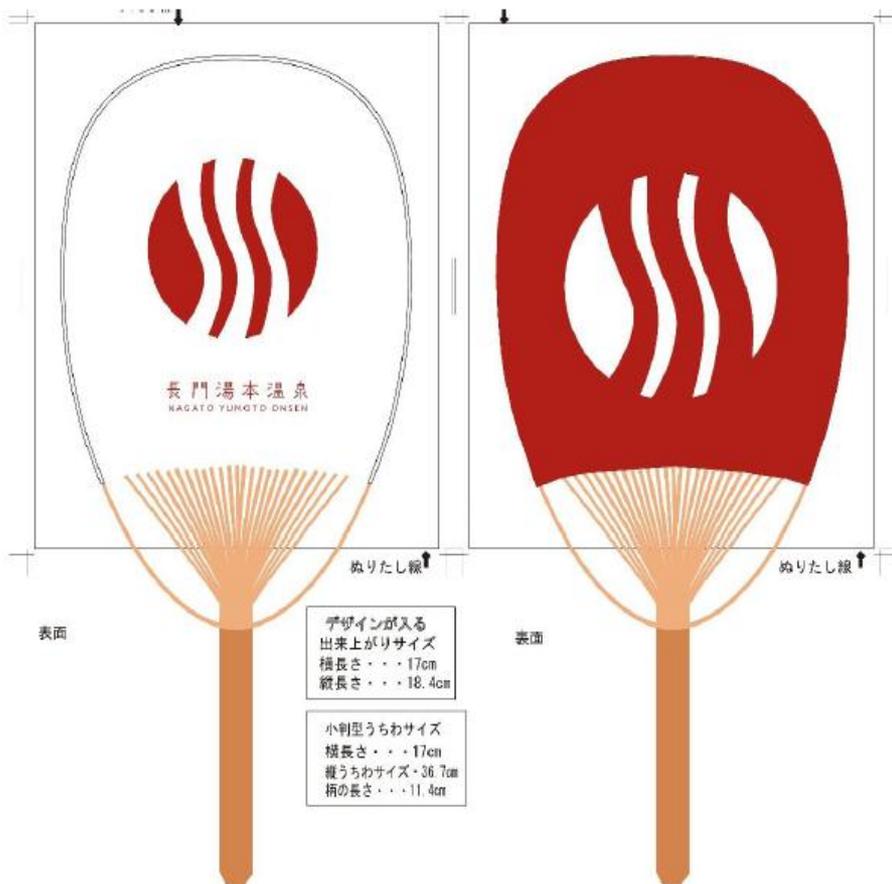


2F

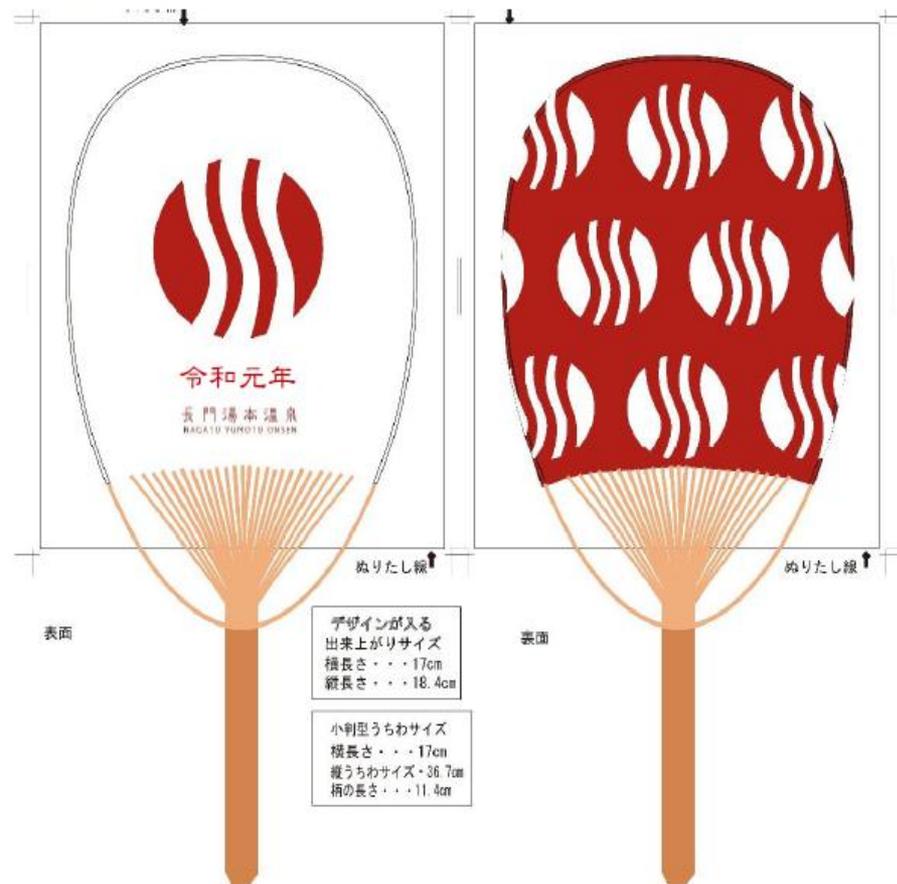
図面作成：アルセッド建築研究所

みんなの集まれる案内所や長門湯本温泉ならではの素敵なお土産が購入できる場所として、まちのみんなで楽しく運営できる場所が生まれます。

## A案 (決定)



## B案 (限定版)



長門湯本温泉ならではの素敵なお土産を検討中



地元住民、京都造形芸術大学(小野研究室)や立命館大学、大阪大学の学生たち等  
多くの方々の参加の元、おとずれ堂のリノベーションが進んでいます。



ひふみ石埋め込みWS



おとずれ堂 リノベーション計画案 B 素材で勝負しちゃいました。

S=1/30 小野純彦ゼミ B班

【店舗内装模型画像】



吊り戸棚  
ディスプレイ

水耕栽培の植物

アイキャッチの壁

観光案内兼レジ  
カウンター

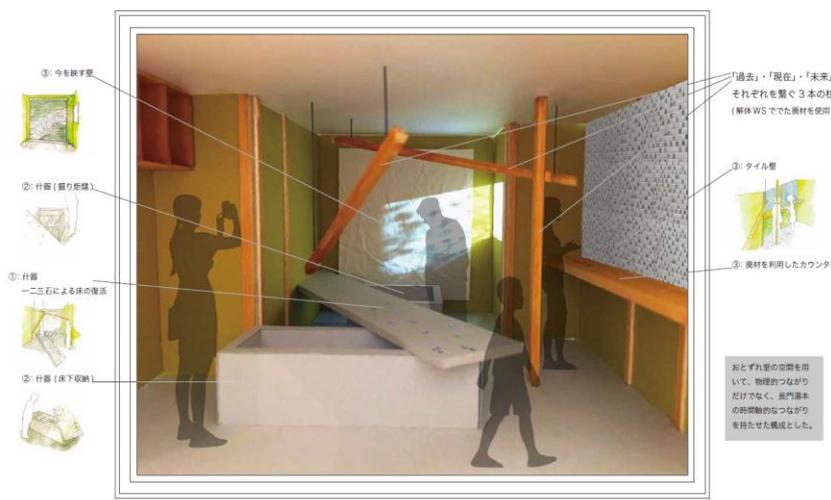
リーフレット置き場

什器

価値の再構築

長門湯本の玄関口となるおとずれ堂の内装に、周辺に解体された温泉のタイルを使用する。温泉をイメージする要素のひとつであるタイルをインテリアの一部として活用することで、温泉の価値を再構築させる。  
 観光のおとずれ堂の臨場である北側階段の吊り戸棚も、観光案内レジのカウンターに作り変える。  
 ・地域の人から特定した植物等をお譲りしてもらい、北側の立ち上りの中に配置する。

【内装模型写真】



①: 今を映す壁

②: 什器(鏡や紙類)

③: 什器  
一三石による床の復活

④: 什器(床下収納)

⑤: 過去・「現在」・「未来」  
それぞれを繋ぐ3本の柱  
(解体WSでできた機材を使用)

⑥: タイル壁

⑦: 素材を利用したカウンター

おとずれ堂の空間を用いて、価値をつながら  
だけでなく、長門湯本の  
時間軸的なつながり  
を持たせた構成とした。



“ようこそ長門湯本へ”  
~おとずれ堂 番台化プロジェクト~

学生による1階店舗部分の内装改修について提案発表会  
随所に学生提案を活かしたリノベーションを推進



地域の工務店さんにご指導頂きながら、解体工事、土間打ち工事、和紙貼り、壁塗り等  
様々な工事を体験、温泉街の記憶を継承するタイルの活用も検討



サプライズで、市長さんが陣中見舞いに来てくださいました。



ふと立ち寄りたくなる“みんなのおとずれ堂”が実現します。

# 湧喜屋 かわもと 修景プロジェクト





土産  
津喜屋  
since  
1931

津喜屋  
カキヤシ

津喜屋  
カキヤシ



温泉街の中心地、千代橋の向かいにある老舗商店「湧喜屋」の外観が、学生たちや地元の方々の協力の元、DIYにて修景されました。

湧喜屋  
かわもと

土産



since  
1931





大きな蛍光色の内照式看板が外れ、ガイドラインに準じた電球色の控えめな看板に

# 荒川食品 修景プロジェクト





# yumoto-mirai REPORT



既に地元では有名なA-SIDEさんと荒川食品さんが更に綺麗になりました。



国際観光旅館

荒川食品





ガイドラインの模範のような店構えに生まれ変わりました。



店舗の内装も山口大学の学生さんたちの協力の元、DIYにて修景されました。



店舗の内装も山口大学の学生さんたちの協力の元、DIYにて修景されました。



ますます笑顔の荒川さんご夫婦です。